

平成25年度 6月 20日 発行

# SSHだより

第2号



## 東京都立日比谷高等学校

### 1 文部科学副大臣が来校しました

去る5月21日(火)、福井照文部科学副大臣が来校され、本校のSSH活動を視察されました。

この日、今年度の海外派遣「ボストン・ハワイ島研修」参加者12名が内定者として決まり、



その第1回の内定者研修の会議が会議室で行われ、副大臣にはそのようすを視察していただきました。

生徒12名は、自己紹介を兼ねて、海外派遣研修への熱い思い(抱負、期待)を語り、また昨年度の参加者からアドバイスを受けたり、意見交換をしたりといった充実した時間を過ごしました。

副大臣には予定時間を大幅に超え、ほとんど最後まで見ていただくこととなりました。帰り際、「是非、帰ってきてからの報告会を文部科学省で行って欲しい」とのお話をうかがいました。

### 2 海外派遣第2回研修「事前学習会」が行われました

5月25日(土)、旅行者からの説明も含めた保護者同伴の事前学習会が会議室にて行われました。今年度の海外派遣研修は、初めてアメリカ東海岸が加わることで、これまでのマウナケア山頂での高所傾応のほか、長時間にわたる飛行機での移動など、健康面に関する学習と、諸手続きに関する内容でした。

キラウエア火山に入山するためには、5種類もの免責書類を書かねばなりません。つまり、何が起きても「自己責任」という覚悟が必要なのです。日本での旅行とはだいぶ違います。

### 3 第1回運営指導委員会が行われました

5月24日(金)放課後、本校会議室にて、今年度第1回のSSH運営指導委員会が開催されました。運営指導委員会とは、学識者のかたや文部科学省、東京都教育委員会のかたがたを交えて、SSH活動に対してのアドバイス等を受けることのできる場です。

今年度、本校の学識経験者として運営指導委員として携わっているのは以下の5名の方々です。(敬称略)

小平 桂一	元総合研究大学院大学学長・東京大学名誉教授
佐藤 勝彦	自然科学研究機構長・東京大学名誉教授
岡野 達雄	放送大学特任教授 東京文京学習センター長
大島 まり	東京大学教授
三浦 謙一	国立情報学研究所名誉教授

### 4 SSH伊豆大島巡検について

参加者16名が確定しました。応募人数12名のところ、2年生だけで応募者が20名に達しましたので、残念ながら1年生の募集は行いませんでした。

### 5 SSH 自主探究活動(発展)について

内容 : 自然科学、科学技術、情報分野等に関すること

活動形態 : 個人研究、共同研究のどちらでも可

大学や研究所などの講座に参加し、連携しながら取り組むことも可

活動場所 : 担当の先生と相談して決める

※ 1年生の希望者は、地学科 永田先生まで

## 6 講演会等

### SSH 自主探究講座

- 6月25日(火) 15:30~17:00 「研究の進め方・まとめ方」  
講師: 東京大学 大島まり 教授 川越至桜 特任助教  
会場: 会議室  
申し込み 6月24日(月) 物理・地学 佐藤先生、永田先生まで
- 6月27日(木) 15:30~17:00 「高等数学・フーリエ級数とは?」  
講師: 本校教諭 佐藤敏明 先生  
会場: 物理教室  
申し込み 6月25日(火) 昼まで 物理科 佐藤先生、小室先生まで

### SSH 特別講演会

- 7月12日(金) 13:30~15:30 2年生全員(総合的な学習の時間となる)  
演題「宇宙はいかに始まったか ~ 理論と望遠鏡で迫る宇宙初期」  
自然科学研究機構長 東京大学 名誉教授 佐藤勝彦 博士  
会場: 東京大学工学部2号館
- 8月19日(月) 13:00~15:00  
演題「宇宙の謎 ダークマター・ダークエネルギー  
— すばる天体望遠鏡との関わり —」(仮題)  
東京大学数物連携機構長 村山 斉 博士  
会場: 星陵会館

## 7 夏の行事案内

- ① 女子中高生夏の学校2013 <http://www.nwec.jp/jp/program/invite/2013/page02i.html>  
6月30日まで 申込みは永田先生まで
- ② SSH全国大生徒研究発表会  
8月7日(水)~8日(木) 横浜パシフィコ

## 8 SSH 野外実習が行われました

### 平成25年度 SSH野外実習「生物臨海実習」について

生物の多様性、生命の連続、環境と生物の関わりについて実物体験を通して学習することを目的として、平成25年4月28日(日)に芝崎ナチュラルリザーブ(葉山町指定天然記念物 葉山柴崎海岸及び周辺水域)にて、生物臨海実習を実施いたしました。参加生徒は1年生、2年生の19名です。午前中は、しおさい博物館の倉持先生に指導していただきました。また、午後は、東京大学三崎臨海実験所のスタッフの方にもご協力いただき分類を中心に行いました。



生物臨海実習にあたっての心構えを学びました。



フィールドでの観察。



実物に触れて、学習しました。